★地域とともにある学校づくりを目指して★

黒部市コミュニティ・スクール通信 Vol.15

令和７年度も締めくくりの３学期となりました。日数が少ない３学期ですが、子供たちの学習が充実するよう、地域の方々の理解と支援をお願いしながら進めていきたいと思います。また、全小中学校が、学校運営協議会を開催し、令和７年度の取組状況を振り返るとともに、次年度の取組が充実するよう地域とともにある学校づくりを進めていくこととしています。

◇◇◇

宇奈月小学校の１月の取組

５・６年生がふるさとキャリア教育の一環として、宇奈月温泉地区の「つぼや」の経営者上野さんからお話を聞きました。なぜ菓子職人になろうとしたのか、修行中の苦労や思い、お客さんへの思いなどを分かりやすく教えていただきました。「失敗から逃げない」という言葉が印象的でした。



上野さんの話を聴く５・６年生

また５年生は、地域で保存活動に取り組んでおられる方から、ホタルの生態について詳しく教えていただきました。

３年生は、総合的な学習の時間に地域の方に来ていただき、調べてきた宇奈月について疑問に思ったことを教えていただきました。

１年生は、生活科の学習で、地域の方１０名に来ていただきました。「だるまおとし」「おてだま」「めんこ」「こま」「けんだま」等、昔から伝わる遊びを楽しむとともに地域の方々と、交流を深めました。

◇◇◇

村椿小学校「地域に学ぶ研修会」



篇原さんの話を聴く 4～6 年生

２学期末、４～６年生のふるさとキャリア教育の一環として「地域に学ぶ研修会」を行いました。コミニティ・スクールの活動として、学校運営協議会の委員の皆さんにも参加いただきました。講師は地元の「荒俣地区松枯対策協議会」事務局の篇原信行さんでした。荒俣の海岸林に昔から残る豊かな自然と、そこに生きる人々の暮らしの歴史、ここ１０年前から大きな被害が見られるようになってきた松枯れの実情と原因、その対策について、資料を基に子供たちに分かりやすく話していただきました。子供たちは、関心をもって聴き入っていました。子供も大人も地域のことを学ぶとともに、自分たちの地域のことを改めて考える貴重な機会となりました。

令和８年２月３日発行
発行：黒部市教育委員会 学校教育課　コミュニティ・スクール担当　℡：0765-54-2701